

## 平成 26 年度（2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日）事業報告

平成 26 年の日本経済は、政権が交代してから 1 年を経過し、昨年に引き続き、デフレからの脱却が着実に進んでいる兆しが見受けられます。一方、世界経済はどうかといえば原油価格の暴落、ウクライナ紛争、ギリシャの政権交代、イスラム国の暴挙等の影響により先行きが不透明な状態が続いております。これらの状況を鑑みますと、日本経済は決して楽観できるような状態ではないと思われま。

当財団におきましては、日本経済の動向を適切に判断し、昨年と同様に円貨建て仕組み債を中心に運用を行い、高配当を着実に得るとともに保有株式配当金も増配となり、事業資金の増加で推移することができました。

本年度は、事業予算として助成事業 2,400 万円、奨学金事業 1,100 万円を計上しておりましたが、助成事業については 2,313 万円（予算比 96%）で執行いたしました。奨学金事業については今日の経済状況を反映し、応募者が 292 名と非常に多く 22 名まで絞り込みを行い、1,212 万円（予算比 110%）となりました。表彰事業については、212 万円（予算比 85%）と予算内で執行いたしました。

平成 26 年度も公益財団法人として求められる収支相償の理念を实践すべくスポーツ振興の助成事業、スポーツを専攻する優秀な学生に対する奨学金の給付事業、スポーツ活動で優秀な成績を上げた指導者及び団体に対する表彰事業により一層寄与出来るよう財団運営を進めて参ります。

以下事業別にご報告申し上げます。収支決算書は別紙をご参照ください。

### 1. 助成に関する事業

214 事業より交付申請があり、審査委員会において審査の結果、下記の通り 52 事業に 23,313,760 円の助成を行いました。

	申請団体	事業の名称	交付金額
1	伊那市総合型地域スポーツクラブ	第 1 回 GRSC 杯アルプスナイトリーグ 2014 前期バドミントン大会（仮）	¥240,000
2	認定特定非営利活動法人 マナーキッズ®プロジェクト	マナーキッズショーとテニス教室の開催事業	¥750,000
3	日本小学生バドミントン連盟	平成 26 年度 指導者講習会への講師派遣（巡回指導）事業	¥800,000
4	さっぽろ ばんけい スノーボードアカデミー	スノーボード競技者発掘/ さっぽろ ばんけいスノーボードアカデミー	¥500,000
5	公益財団法人 日本ラグビーフットボール協会	新島杯第 36 回九州ジュニアラグビーフットボール大会 新島旗第 27 回九州中学校ラグビーフットボール大会	¥380,000
6	公益財団法人日本サッカー協会	FIFA グラスルーツコース&フェスティバル 2014	¥750,000
7	滋賀県高体連バドミントン専門部	リーダー養成合宿	¥350,000
8	公益財団法人 佐賀市体育協会	平成 26 年度 ジュニアソフトテニス教室	¥40,000

9	公益財団法人 佐賀市体育協会	平成 26 年度 第 13 回佐賀市中学生卓球大会	¥30,000
10	特定非営利活動法人 新潟野球人	第 9 回 新潟地区学童軟式野球新人戦	¥250,000
11	NPO e-Powers バドミントンクラブ	平成 26 年度 ジュニアバドミントン教室	¥540,000
12	NPO 法人 YNU スポーツアカデミー	親子テニス教室 3 回と指導者育成教室 1 回 計 4 回	¥400,000
13	大阪高等学校体育連盟 テニス専門部	平成 26 年度 大阪府下高校生のテニス競技 普及・技術向上・審判育成事業	¥500,000
14	特定非営利活動法人 ピアンコーネ福島スポーツクラブ	第 14 回 2014 ゴールデンエイジ民報ピアンコーネカップ	¥460,000
15	東京医科歯科大学教養部	ジュニアスポーツ教室（水泳、ソフトテニス）	¥908,860
16	一般社団法人 新潟県サッカー協会	第 12 回新潟県キッズサッカー大会	¥500,000
17	公益財団法人厚木市体育協会	第 2 回ジュニアソフトテニス教室	¥80,000
18	公益財団法人厚木市体育協会	第 1 回ジュニアソフトテニス教室	¥40,000
19	長野県ゴルフ協会	平成 26 年度夏季ジュニア・ゴルフスクール	¥130,000
20	特定非営利活動法人 福島スポーツネット	福島県小、中学生サッカーサテライトリーグ	¥180,000
21	公益財団法人 秦野市スポーツ振興財団	こども PLAY+STAY テニス教室	¥100,000
22	特定非営利活動法人 楠スポーツクラブ	小中学生バドミントン教室	¥30,000
23	一般社団法人 アジアジュニアゴルフ協会	マジックジュニアゴルフキャンプ	¥500,000
24	「夢はウィンブルドンへ」 実行委員会	第 10 回グラスホパー全国ジュニアテニス in 佐賀	¥500,000
25	伊集院バドミントン スポーツ少年団	バドミントンジュニア選手育成支援事業	¥150,000
26	公益財団法人日本ゴルフ協会	2014 年全国小学生ゴルフ大会	¥500,000
27	特定非営利活動法人 あさひスポーツ・文化クラブ	ジュニアスポーツ教室（Jr.バドミントン教室・Jr.テニス教室・ミニバスケットボール教室）	¥320,000
28	NPO 法人 隼人錦江スポーツクラブ	平成 26 年度ソフトテニス教室及びクラブ杯大会	¥350,000
29	特定非営利活動法人 テニスチャレンジいわて 2020	岩手県南広域ジュニアテニス普及事業	¥750,000
30	一般社団法人 日本女子プロゴルフ協会	LPGA ファミリーゴルフデー	¥1,000,000
31	関東ソフトテニス連盟	2014 年ソフトテニスジュニア育成プロジェクト	¥570,000
32	大分県ソフトテニス連盟	第 31 回全日本小学生ソフトテニス選手権大会	¥750,000

33	日本小学生バドミントン連盟	第 23 回全国小学生バドミントン選手権大会	¥1,000,000
34	長崎県バドミントン協会	平成 26 年度第 5 回中央指導者招聘強化事業	¥236,400
35	香川県中学校テニス連盟	第 3 回 全国選抜中学校テニス大会	¥1,000,000
36	NPO法人 妹背ウォーターフォールクラブ	第 21 回大野オイスターカップバドミントン大会	¥150,000
37	公益財団法人 かめま文化・スポーツ振興財団	第 15 回フォレストアリーナビギナーズテニスカップ	¥150,000
38	福岡県テニス協会	平成 26 年度少年スポーツクラブテニス福岡県大会	¥100,000
39	全国選抜高校テニス大会 実行委員会	第 37 回全国選抜高校テニス大会	¥800,000
40	岩手県ソフトテニス連盟	がんばろう岩手 ソフトテニス復興支援事業	¥350,000
41	気仙沼テニス協会	復興ジュニアテニス教室	¥470,000
42	青森市バドミントン協会	第 21 回中世の里ジュニアバドミントンオープン大会	¥400,000
43	特定非営利活動法人 日本バドミントン指導者連盟	バドミントン・コーチング・キャンプ 2014	¥745,000
44	公益財団法人 日本ソフトテニス連盟	全日本ソフトテニス若手強化選手のためのフィットネス(メディカルおよびコンディショニング)キャンプ	¥525,000
45	特定非営利活動法人 ビーンズプロジェクト	低年齢ジュニア育成組織整備事業	¥423,500
46	特定非営利活動法人 ソフトテニスチャレンジジャパン	ソフトテニスチャレンジ 2015 in 伊勢崎	¥900,000
47	関西テニス協会	ジュニア選手を対象とした効果的なスキル指導教室およびテニスの普及のためのPLAY+STAY教室の開催	¥665,000
48	日本障害者バドミントン協会	第 24 回日本障害者バドミントン選手権大会・名古屋	¥900,000
49	島根県テニス協会	西部ジュニア強化練習会 (兼 ジュニアチャレンジマッチ)	¥150,000
50	一般社団法人徳島県サッカー協会	全国ジュニアユースサッカーフェスティバル 2014 in とくしま ~ 第 25 回ネルソン吉村大志朗杯 ~	¥500,000
51	特定非営利活動法人 リベロ津軽スポーツクラブ	リベロスポーツパークカップ ジュニアサッカー大会	¥200,000
52	寺泊シーサイドマラソン大会 実行委員会	第 36 回寺泊シーサイドマラソン大会	¥300,000
			23,313,760

団体の名称は申請時のものです

なお、以下に事業中止・変更による交付金返金を記載いたします。(合計 ¥979,930-)

No.19	長野県ゴルフ協会(台風 8 号豪雨災害に伴い中止、全額返金)	¥ 130,000-
No.30	一般社団法人日本女子プロゴルフ協会(事業変更に伴い一部返金)	¥ 569,930-
No.48	日本障害者バドミントン協会(事業変更に伴い一部返金)	¥ 280,000-

## 2 . 奨学生に関する事業

給与申請は292名から提出され、審査委員会において審査の結果、高校生9名、大学生13名、計22名を決定し、12,120,000円を給与いたしました。

## 3 . 表彰に関する事業

平成26年度の表彰は、審査委員会において審査の結果、次のとおり決定いたしました。

氏名	朴柱奉氏
現職	公益財団法人日本バドミントン協会 ナショナルチームヘッドコーチ
功績	2004年にヘッドコーチ就任以来、その卓越した指導力を発揮し、ロンドンオリンピック女子ダブルス銀メダル獲得、第25回ユバ杯準優勝など顕著な戦績を収められ、とりわけ第28回トマス杯優勝という史上初の快挙を達成し、日本バドミントン界の技術力向上に多大な貢献をした。

氏名	山口茜選手
現職	福井県立勝山高等学校 女子バドミントン部
功績	世界ジュニア選手権大会でのシングルス2連覇をはじめ、全日本総合選手権大会優勝、スーパーシリーズファイナルズ3位入賞など目覚ましい活躍をした。

## 4 . 個人情報の取り扱いについて

当財団は個人情報取り扱い事業者には該当いたしません。個人情報保護法の制定に伴い、個人情報の保護及び安全管理措置、従業員の監督等はヨネックス株式会社の個人情報保護規定（平成17年3月25日制定）に準拠して取り扱っております。

## 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度(26年度)	前年度(25年度)	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1、流動資産			
現金・預金	16,578,302	16,575,053	3,249
定期預金	1,464,431	1,457,933	6,498
流動資産合計	18,042,733	18,032,986	9,747
2、固定資産			
①基本財産			
預金(日興証券)	762,359	762,359	0
定期預金	24,543,299	24,543,299	0
国債	8,855,342	8,855,342	0
外債	581,604,000	581,604,000	0
投資有価証券	2,332,500,000	973,500,000	1,359,000,000
基本財産合計	2,948,265,000	1,589,265,000	1,359,000,000
②特定資産			
助成事業積立資産	11,661,539	0	11,661,539
特定資産合計	11,661,539	0	11,661,539
固定資産合計	2,959,926,539	1,589,265,000	1,359,000,000
資産合計	2,977,969,272	1,607,297,986	1,359,009,747
<b>II 負債の部</b>			
1、流動負債			
預かり金	21,010	21,010	0
流動負債合計	21,010	21,010	0
2、固定負債	0	0	0
負債合計	21,010	21,010	0
<b>III 正味財産の部</b>			
1、指定正味財産			
預金	16,987,197	5,325,658	11,661,539
国債・外債	590,459,342	590,459,342	0
受贈投資有価証券	2,332,500,000	973,500,000	1,359,000,000
指定正味財産合計	2,939,946,539	1,569,285,000	1,370,661,539
(うち基本財産への充当額)	(2,928,285,000)	(1,569,285,000)	1,359,000,000
(うち特定資産への充当額)	(11,661,539)	(0)	11,661,539
2、一般正味財産	38,001,723	37,991,976	9,747
(うち基本財産への充当額)	(19,980,000)	(19,980,000)	0
正味財産合計	2,977,948,262	1,607,276,976	1,370,671,286
負債及び正味財産合計	2,977,969,272	1,607,297,986	1,370,671,286

財産目録  
平成27年3月31日現在

(単位:円)

科 目	場所・物量等	使用目的	金 額
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	手元現金	運転資金として	15,691
普通預金	北越銀行東京支店	〃	16,562,611
定期預金	北越銀行東京支店	〃	1,464,431
流動資産合計			18,042,733
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1)基本財産</b>			
預金	日興証券預け金	公益目的保有財産であり運用益を助成事業の財源として使用している	762,359
定期預金	北越銀行東京支店	〃	24,543,299
国債	第5回利付国債(40年)	〃	8,855,342
外債	ゴールドマンサックスグループ	〃	131,604,000
外債	ドイツ銀行コウロントンシテン	〃	150,000,000
外債	エスエムビーシーニコウショウケン	〃	300,000,000
投資有価証券	ヨネックス株式150万株	〃	2,332,500,000
<b>(2)特定資産</b>			
普通預金	北越銀行東京支店	運用益を助成事業等の財源として使用している。	11,661,539
固定資産合計			2,959,926,539
資産合計			2,977,969,272
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
預り金	源泉徴収税		21,010
流動負債合計			21,010
負債合計			21,010
正味財産			2,977,948,262

## 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度(26年度)	当年度(25年度)	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1、経常損益増減の部</b>			
(1) 経常収益			
①[基本財産運用益]			
受取利息・配当金	39,475,259	35,426,416	4,048,843
②[寄付金収入]			
受取寄付金	0	3,000,000	-3,000,000
③[雑収入]			
受取利息	9,747	8,643	1,104
<b>経常収益計</b>	<b>39,485,006</b>	<b>38,435,059</b>	<b>1,049,947</b>
(2) 経常費用			
①[事業費]			
助成金	22,221,830	21,963,597	258,233
奨学金	12,120,000	9,840,000	2,280,000
表彰	2,116,654	2,070,157	46,497
<b>事業費計</b>	<b>36,458,484</b>	<b>33,873,754</b>	<b>2,584,730</b>
②[管理費]			
給与手当	1,686,200	1,687,550	-1,350
福利厚生費	202,525	195,960	6,565
会議費	375,624	340,242	35,382
旅費交通費	76,551	148,870	-72,319
通信費	150,551	146,783	3,768
委託費	324,000	315,000	9,000
その他経費	201,324	241,790	-40,466
<b>管理費計</b>	<b>3,016,775</b>	<b>3,076,195</b>	<b>-59,420</b>
<b>経常費用計</b>	<b>39,475,259</b>	<b>36,949,949</b>	<b>2,525,310</b>
<b>当期経常増加額</b>	<b>9,747</b>	<b>1,485,110</b>	<b>-1,475,363</b>
<b>2、経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
<b>当期一般正味財産増加額</b>	<b>9,747</b>	<b>1,485,110</b>	<b>-1,475,363</b>
一般正味財産期首残高	37,991,976	36,506,866	1,485,110
一般正味財産期末残高	38,001,723	37,991,976	9,747
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息・配当金	51,136,798	35,426,416	15,710,382
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産へ振替-受取利息・配当金	-39,475,259	-35,426,416	-4,048,843
<b>当期指定正味財産増加額</b>	<b>11,661,539</b>	<b>0</b>	<b>11,661,539</b>
[基本財産評価益等]			
指定正味財産の投資有価証券評価益	1,359,000,000	201,000,000	1,158,000,000
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>1,370,661,539</b>	<b>201,000,000</b>	<b>1,158,000,000</b>
指定正味財産期首残高	1,569,285,000	1,368,285,000	201,000,000
指定正味財産期末残高	2,939,946,539	1,569,285,000	1,370,661,539
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>2,977,948,262</b>	<b>1,607,276,976</b>	<b>1,370,671,286</b>

## 財務諸表に対する注記

### 1、重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は償却減価(定額法)による。

関連会社株式は移動平均法に基づく原価法による。

その他の有価証券は時価のあるものは時価法(売却原価は移動法により算定)、時価のないものは移動平均法による原価法とする。

#### (2) 固定資産償却の方法は定額法による。

#### (3) 消費税の会計処理は税込み方式による。

### 2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加高	当期減少額	当期末残高
基本財産:				
預金(日興証券)	762,359	0	0	762,359
定期預金	24,543,299	0	0	24,543,299
国債	8,855,342	0	0	8,855,342
外債	581,604,000	270,000,000	270,000,000	581,604,000
投資有価証券(株式)	973,500,000	1,359,000,000	0	2,332,500,000
小計	1,589,265,000	1,629,000,000	270,000,000	2,948,265,000
特定資産:				
普通預金	0	11,661,539	0	11,661,539
小計	0	11,661,539	0	11,661,539
合計	1,589,265,000	1,640,661,539	270,000,000	2,959,926,539

### 3、基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産:				
預金(日興証券)	762,359	(762,359)		
定期預金	24,543,299	(4,563,299)	(19,980,000)	0
外債・国債	590,459,342	(590,459,342)	0	0
投資有価証券株式	2,332,500,000	(2,332,500,000)	0	0
小計	2,948,265,000	(2,928,285,000)	(19,980,000)	0
特定資産:				
普通預金	11,661,539	(11,661,539)	0	0
小計	11,661,539	(11,661,539)	0	0
合計	2,959,926,539	(2,939,946,539)	(19,980,000)	0

### 4、満期保有目的の債券及び有価証券の内容及び帳簿価額、時価、評価損益

満期保有目的の債券及び投資有価証券の内容及び帳簿価額、時価、評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
国債—第5回利付き国債(40年)	8,855,342	10,002,660	1,147,318
合計	8,855,342	10,002,660	1,147,318

### 5、指定正味財産から一般正味財産への振替額の振替額

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
外債・国債受取利息	39,475,259
合計	39,475,259

## 付属明細書

### 1、基本財産特定資産の明細

基本財産及び特定資産について、財務諸表の注記に記載しているため記載を省略する。

### 2、引当金の明細

該当なし。

## 正味財産増減計算書：内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益法人会計	法人会計	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1、経常損益増減の部</b>			
(1) 経常収益			
①[基本財産運用益]			
受取利息・配当金	36,458,484	3,016,775	39,475,259
②[雑収入]			
受取利息		9,747	9,747
経常収益計	36,458,484	3,026,522	39,485,006
(2) 経常費用			
①[事業費]			
助成金	22,221,830		22,221,830
奨学金	12,120,000		12,120,000
表彰	2,116,654		2,116,654
事業費計	36,458,484		36,458,484
②[管理費]			
給与手当		1,686,200	1,686,200
福利厚生費		202,525	202,525
会議費		375,624	375,624
旅費交通費		76,551	76,551
通信費		150,551	150,551
委託費		324,000	324,000
その他経費		201,324	201,324
管理費計		3,016,775	3,016,775
経常費用計	36,458,484	3,016,775	39,475,259
当期経常増加額	0	9,747	9,747
<b>2、経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期一般正味財産増加額	0	9,747	9,747
一般正味財産期首残高	30,034,328	7,957,648	37,991,976
一般正味財産期末残高	30,034,328	7,967,395	38,001,723
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
①基本財産運用益			
基本財産受取利息・配当金	41,983,312	9,153,486	51,136,798
②一般正味財産への振替額			
一般正味財産へ振替-受取利息・配当金	-36,458,484	-3,016,775	-39,475,259
当期指定正味財産増加額	5,524,828	6,136,711	11,661,539
[基本財産評価益等]			
外債の売却による減少額	0	0	0
指定正味財産の投資有価証券評価益	1,115,739,000	243,261,000	1,359,000,000
当期指定正味財産増減額	1,121,263,828	249,397,711	1,370,661,539
指定正味財産期首残高	1,288,382,985	280,902,015	1,569,285,000
指定正味財産期末残高	2,409,646,813	530,299,726	2,939,946,539
<b>III 正味財産期末残高</b>	2,439,681,141	538,267,121	2,977,948,262